

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

教育総務課

学校施設係

No 245

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備
	実施計画名		事務事業名			
11	学校施設整備事業		3	学校放送設備更新事業		

事業 概要	交換部品が無く修理できない校内放送設備を更新し、円滑に学校運営を行えるようにする。平成29年度は、高千帆小学校の放送設備を更新した。		対象	修理できない校内放送設備
			手段	更新
			意図	学校運営の円滑化

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	校用器具費	1,112,400	887,760	987,120	1,507,000
合 計		1,112,400	887,760	987,120	1,507,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	地域公益事業	887,760	987,120	1,507,000	
		一般財源	1,112,400				
合 計				1,112,400	887,760	987,120	1,507,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.1	583,456		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	更新台数	活動	1台	1台	1台	1台
			1台	1台	1台	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策				
A						
		今後の方向性				
成果 の 方向 性	拡充		④	②	①	
	現状維持		③	⑤ ✓		
	縮小		⑥			
	休廃止	⑦				
		皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

特記 事項	
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

教育総務課

学校施設係

No 246

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備
	実施計画名		事務事業名			
11	学校施設整備事業		4	学校電話設備更新事業		

事業 概要	部品が無く修理できない学校電話設備を更新し、円滑に学校運営を行えるようにする。平成29年度は、出合小学校、須恵小学校の電話設備を更新した。	対象	修理できない電話設備
		手段	更新
		意図	学校運営の円滑化

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	校用器具費	1,055,700	594,000	993,600	632,000
合 計		1,055,700	594,000	993,600	632,000

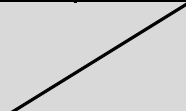
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	地域公益事業	594,000	993,600	632,000	
		一般財源	1,055,700				
合 計				1,055,700	594,000	993,600	632,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.1	583,456		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	更新台数	活動	2台	1台	2台	1台
			2台	1台	2台	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策
A		

今後の方向性					
成果 の 方向 性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記 事項	
----------	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備
	実施計画名		事務事業名			
	11	学校施設整備事業	5	小学校遊具補修・更新事業		

事業概要	遊具は体育の授業や休憩時間の遊びに使われ、子どもたちの日々の学校生活に欠かせない設備である。安全に使用できるように修繕するとともに、修繕できない遊具を更新する。平成29年度は、8校で一部の遊具を修繕し、本山小学校のブランコを更新した。	対象	小学校遊具
		手段	遊具の修繕・更新
		意図	安全で快適な使用環境の確保

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	修繕料	1,239,000	1,500,000	1,126,000	1,900,000
	工事請負費	1,296,000	1,505,520	1,242,000	1,000,000
合 計		2,535,000	3,005,520	2,368,000	2,900,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金		1,505,520	1,242,000	1,000,000
		一般財源		2,535,000	1,500,000	1,126,000	1,900,000
合 計				2,535,000	3,005,520	2,368,000	2,900,000

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.25	1,458,639		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	修繕する遊具の数	活動	73遊具	59遊具	72遊具	全件
			19遊具	12遊具	9遊具	
			26.0%	20.3%	12.5%	
2	更新又は新設する遊具の数	活動	1遊具	2遊具	1遊具	1遊具
			1遊具	2遊具	1遊具	
			100.0%	100.0%	100.0%	
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策		今後の方向性				
C		遊具は、安全に使用することができるよう経年劣化したものは、修繕を行う等の対応が必要であるが、修繕できていない遊具がある。 毎年、各学校に専門業者による点検結果を文書で報告するとともに、遊具の点検講習会を開催しているが、事故が起これないよう、学校にはしっかりと日常点検と児童への安全指導の実施をお願いする。	拡充		④	②	①	✓
			現状維持		③	⑤		
			縮小		⑥			
			休廃止	⑦				
					皆減	縮小	現状維持	拡大
			コスト投入の方向性					

特記事項	
------	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備
	実施計画名		事務事業名			
	11	学校施設整備事業	6	学校施設屋上改修事業		

事業概要	学校施設の屋根や屋上が雨漏りし、部分的な修繕では直せないため改修する。平成29年度は、埴生中学校教室棟の屋上を改修した。	対象	雨漏りする学校施設の屋根・屋上
		手段	屋根の葺き替え、屋上の全面防水工事
		意図	雨漏りの解消と施設の延命化

歳出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事請負費	6,888,240	8,208,000	11,167,200	0
合計		6,888,240	8,208,000	11,167,200	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債	95%		10,600,000		
		その他					
		一般財源		6,888,240	8,208,000	567,200	
合 計				6,888,240	8,208,000	11,167,200	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.44	2,217,425		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	屋根又は屋上を改修する棟数	活動	2棟	1棟	1棟	
			2棟	1棟	1棟	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A	➡	課題及び改善策	
			学校施設の屋上防水は建築当初からのものが多く、全体が劣化し、雨漏りが発生している施設がある。このまま放置すると、躯体が傷み、耐久性に影響を及ぼす。漏電や火災発生の危険性もある。 該当施設は応急措置を講じる。	

今後の方向性					
成果 の 方向 性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	※地方債(合併特例債 95%)
------	-----------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

教育総務課

学校施設係

No 249

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備
	実施計画名		事務事業名			
	11	学校施設整備事業	9	学校屋内運動場床改修事業		

事業概要	厚狭中学校屋内運動場の床のほとんどに不陸が生じているため、床組を木製から鋼製に変え、新しい床板を張り直し、正常な状態にする。		対象	学校屋内運動場の床
			手段	床組を木製から鋼製に変え新しい床板を張り直す
			意図	利用環境の改善

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事請負費			37,417,680	0
合 計		0	0	37,417,680	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					0
		県支出金					
		地方債	75%			28,000,000	
		その他					
		一般財源				9,417,680	
合 計				0	0	37,417,680	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.5	2,420,700		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	床を改修する施設数	活動			1施設 1施設 100.0%	
2						
3						

H29 目標達成度	課題及び改善策		今後の方向性					
A			成果の方向性	拡充		④	②	①
			現状維持		③	⑤ ✓		
			縮小		⑥			
			休廃止	⑦				
					コスト投入の方向性			
	皆減				縮小	現状維持	拡大	

特記事項	※地方債(学校教育施設等整備事業債 75%)
------	------------------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

教育総務課

学校施設係

No 250

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備
	実施計画名		事務事業名			
11	学校施設整備事業		8	小・中学校普通教室扇風機設置事業		

事業 概要	文部科学省が発行した「学校環境衛生管理マニュアル」には、教室等の温度は人間の生理的な負担を考えると夏は28℃以下であることが望ましいとある。熱中症を予防し、授業中の暑さを少しでもやわらげるため、小・中学校の全普通教室に扇風機を年次的に配備する。29年度は、中学校の各普通教室に2台ずつ整備した。				対象	小・中学校の普通教室
					手段	扇風機の整備
					意図	夏場の学習環境の改善

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	消耗品費		1,659,320	807,601	2,191,000
合 計		0	1,659,320	807,601	2,191,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金		807,601	2,000,000	
		一般財源		1,659,320		191,000	
合 計			0	1,659,320	807,601	2,191,000	

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.15	875,183		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	扇風機の整備台数 (小学校普通教室1室あたりの整備台数)	活動		2台		2台
				2台		
				100.0%		
2	扇風機の整備台数 (中学校普通教室1室あたりの整備台数)	活動			2台	
					2台	
					100.0%	
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性				
	扇風機を作動させると体感温度を下げるができるが、教室の室温を下げることはできないため、普通教室等にエアコンを整備できるよう、計画を立てる。		成果 の 方向 性	拡充	④	②	①
A				現状維持	③	⑤	✓
				縮小	⑥		
				休廃止	⑦		
			皆減	縮小	現状維持	拡大	
			コスト投入の方向性				

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

No 251

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備
	実施計画名		事務事業名			
		学校施設整備事業		自治体情報システム強靱性の向上事業(教育委員会分)		

事業概要	セキュリティ強化のため、平成29年度から小中学校の教員用パソコンは県の情報セキュリティクラウドを利用することとなった。しかし、コンピュータ室にあるパソコンとタブレット端末は別回線を利用することとなった為、通信機器の設定を変更する。				対象	小・中学校のコンピュータ室のパソコン及びタブレット端末
					手段	通信機器の設定変更
					意図	セキュリティの確保

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	ネットワーク改修委託料			356,400	0
	回線使用料			56,587	73,224
合 計		0	0	412,987	73,224

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源			412,987	73,224	
合 計			0	0	412,987	73,224	

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	通信機器の設定変更実施率	活動			100%	
					100%	
					100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
A			成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤ ✓	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
			皆減	縮小	現状維持	拡大		
	コスト投入の方向性							

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

No 252

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	2	教育内容・方法の充実
	実施計画名		事務事業名			
9	学習方法等の充実関連事業		10	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業		

事業 概要	JFA(日本サッカー協会)の協力を得て、スポーツ界で名を馳せた人を夢先生として中学校に派遣し、「夢の教室」を開催して、子どもたちが夢を持つことのすばらしさや夢の実現に向かって努力する心を育てる。				対象	中学2年生
					手段	夢先生を中学校に派遣して「夢の教室」を開催する。
					意図	夢に向かって努力する心を育む。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	消耗品費	0	0	0	4,000
	夢の教室事業委託料	3,083,000	2,980,000	3,006,000	3,160,000
合 計		3,083,000	2,980,000	3,006,000	3,164,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	まちづくり魅力基金	3,083,000	2,980,000	3,006,000	3,000,000
		一般財源				164,000	
合 計				3,083,000	2,980,000	3,006,000	3,164,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.1	583,456		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	実施クラス数	活動	20クラス	18クラス	17クラス	19クラス
			20クラス	18クラス	17クラス	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性					
			成果 の 方向 性	拡充		④	② ✓	①
A	事業の成果が把握できるよう、夢先生の話聞いて、「夢を持つこと、夢の実現に向かって努力することが必要と思った」というようなアンケート項目を設定する。			現状維持		③	⑤	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
					皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性						

特記 事項	
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

No 253

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	2	教育内容・方法の充実
	実施計画名		事務事業名			
9	学習方法等の充実関連事業		11	小中一貫教育推進事業		

事業概要	「学校教育法等の一部を改正する法律」に基づき、施設一体型の厚陽小・中学校で小中一貫教育を推進すると共に、平成32年度に施設一体型となる埴生小・中学校でも小中一貫教育を推進するため、国の委託事業を活用して研修・研究を行い、その成果を他の学校や保護者に広め				対象	小中学校の教員
					手段	モデル校視察、研修会の開催、研修・研究のまよめの配布
					意図	義務教育9年間を見据えた計画的・継続的な指導体制づくり

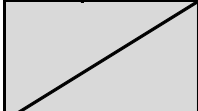
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	講師謝礼			30,000	30,000
	費用弁償			119,360	100,000
	普通旅費			19,880	10,000
	消耗品費			0	60,000
	印刷製本費			19,764	0
合 計		0	0	189,004	200,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金	100%		189,004	200,000	
		地方債					
		その他					
		一般財源					
合 計				0	0	189,004	200,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.15	875,183		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	研修会の実施回数	活動			3回	3回
					3回	
					100.0%	
2	モデル校視察回数	活動			2回	2回
					3回	
					150.0%	
3	研修・研究のまよめの配布枚数	活動			300枚	1000枚
					265枚	
					88.3%	

H29 目標 達成 度		課題及び改善策				
A						
		今後の方向性				
成果の 方向性	拡充		④	②	①	
	現状維持		③	⑤ ✓		
	縮小		⑥			
	休廃止	⑦				
		皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

特記事項	財源:小中一貫教育推進事業委託金
------	------------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

No 254

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	2	教育内容・方法の充実
	実施計画名		事務事業名			
10	教職員の資質向上事業		2	指導主事配置事業		

事業 概要	指導主事の業務量は慢性的にオーバーワークの状態となっている。業務量に見合った人数配置が必要なため、最低でも現行の指導主事の人数を確保する。	対象	指導主事
		手段	市費により指導主事を配置
		意図	学校教諭への指導等を通じて、教育力の向上を図る。

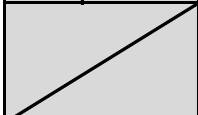
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	指導主事負担金	35,305,730	36,075,653	35,356,652	36,000,000
合 計		35,305,730	36,075,653	35,356,652	36,000,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	35,305,730	36,075,653	35,356,652	36,000,000	
合 計				35,305,730	36,075,653	35,356,652	36,000,000

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	有
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	指導主事増員数	活動	4人	4人	4人	4人
			4人	4人	4人	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策					今後の方向性					
A		指導主事は日中、学校に出向いて教職員の指導をしていることが多く、事務仕事は帰庁後、勤務時間外に行うことがほとんどである。この事務仕事は教員の専門的知識が必要な為、市の行政職員では対応できない。現在、教員の働き方改革が求められており、1名増員して5名体制にすれば、この課題を解決できる。					成果の方向性	拡充		④	②	① ✓
								現状維持		③	⑤	
								縮小		⑥		
								休廃止	⑦			
												
皆減	縮小	現状維持	拡大									

特記 事項	
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

No 255

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	2	教育内容・方法の充実
	実施計画名		事務事業名			
10	教職員の資質向上事業		3	英語教育推進事業		

事業概要	ALT(外国語指導助手)を2名雇用して小中学校に派遣し、教員と連携した授業を実施して英語教育の充実を図る。	対象	児童生徒
		手段	英語を母国語とするALTを公募により採用し、学校に派遣する。
		意図	英語を母国語とするALTに教わることで、英語により強い関心を持たせる。

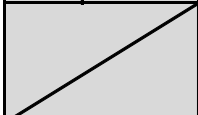
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	外国語指導助手報酬	4,800,000	4,800,000	4,800,000	7,200,000
合 計		4,800,000	4,800,000	4,800,000	7,200,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金			7,200,000	
		一般財源		4,800,000	4,800,000	4,800,000	
合 計				4,800,000	4,800,000	4,800,000	7,200,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.3	1,750,367		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	ALT派遣日数	活動	300日	300日	300日	450日
			300日	271日	276日	
			100.0%	90.3%	92.0%	
2	アンケートで「あなたは外国語活動の勉強は大切だと思いますか」との問いに、「そう思う」と回答した児童の割合(小学校6年生)	成果			100%	100%
					87.0%	
					87.0%	
3	アンケートで「あなたは外国語活動の授業の内容を理解していると思いますか」との問いに、「理解している」「どちらかといえば理解している」と回答した児童の割合(小	成果			100%	100%
					72.00%	
					72.0%	

H29 目標 達成 度	B		課題及び改善策		今後の方向性					
			平成32年度から小学校5・6年で外国語活動が外国語科に教科化され、3・4年で外国語活動が開始される。平成30年度から、これらが一部先行実施されるため、ALTを増員し、英語教育を推進する必要がある。		成果の方向性	拡充		④	②	① ✓
現状維持		③	⑤							
縮小		⑥								
休廃止	⑦									
		皆減		縮小	現状維持	拡大				
		コスト投入の方向性								

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

No 256

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	2	教育内容・方法の充実
	実施計画名		事務事業名			
10	教職員の資質向上事業		5	学校司書配置事業		

事業 概要	全ての小中学校に学校司書を配置して、学校図書室の利用促進や図書の授業での活用、学校間の図書の相互利用等を推進する。				対象	児童生徒
					手段	司書資格又は教員免許を有する人を面接して採用する。
					意図	読書習慣の定着

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	人件費	32,492,412	34,721,358	36,179,180	35,375,000
合 計		32,492,412	34,721,358	36,179,180	35,375,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	32,492,412	34,721,358	36,179,180	35,375,000	
合 計				32,492,412	34,721,358	36,179,180	35,375,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	有
				0.15	875,183		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	学校司書配置校数	活動	18校	18校	18校	18校
			18校	18校	18校	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	小学校における年間貸出し冊数 (目標値の基準:H28実績58冊/人)	成果			190,066冊	189,834冊
					160,722冊	
					84.6%	
3	中学校における年間貸出し冊数 (目標値の基準:H27実績12冊/人)	成果			19,632冊	17,567冊
					12,176冊	
					62.0%	

H29 目標 達成 度	➡	課題及び改善策	今後の方向性						
C			成果の 方向性	拡充		④	②	①	
				現状維持		③	✓	⑤	
				縮小		⑥			
				休廃止	⑦				
				皆減	縮小	現状維持	拡大		
				コスト投入の方向性					

特記 事項	
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

No 257

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	6	特別支援教育の推進
	実施計画名		事務事業名			
12	特別支援教育教員等配置事業		1	特別支援教育支援員配置事業		

事業概要	ノーマライゼーションの理念に基づき、特別な支援が必要な児童生徒が在籍する全ての学校に特別支援学級を設置している。また、通常学級にLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)など集団生活に適応できない児童生徒が増加している。これらの学級の運営が適切に行				対象	特別な支援が必要な児童生徒が在籍している学級
					手段	特別支援教育支援員の配置
					意図	適切な学級運営の確保

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	保険料	108,320	116,980	122,280	130,000
	特別支援教育支援員業務委託料	5,836,700	6,229,440	6,756,130	7,750,000
合 計		5,945,020	6,346,420	6,878,410	7,880,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	5,945,020	6,346,420	6,878,410	7,880,000	
合 計			5,945,020	6,346,420	6,878,410	7,880,000	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.25	1,458,639		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	特別支援教育支援員の配置人数	活動	15人	17人	18人	18人
			15人	17人	20人	
			100.0%	100.0%	111.1%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策				
A						
		今後の方向性				
成果の 方向性	拡充		④	②	①	
	現状維持		③	⑤ ✓		
	縮小		⑥			
	休廃止	⑦				
		皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

No 258

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	6	特別支援教育の推進
	実施計画名		事務事業名			
12	特別支援教育教員等配置事業		2	特別支援補助教員配置事業(単市分1名)		

事業概要	知的障害特別支援学級の集合体である松原分校は、近年、知的障害と共に自閉症等の発達障害(他人との意思疎通や対人関係の形成、社会生活への適応が困難な児童)を抱えた、個別の配慮が必要な児童が在籍している。このような学級で集団活動を学級担任一人で行うには限界があるため、特別教員を配置し、指導を行う。	対象	松原分校小学部
		手段	補助教員の配置
		意図	適切な学級運営の確保

歳 出		H27 決算額(円)	H28 決算額(円)	H29 決算額(円)	H30 予算額(円)
支出内訳	保険料	6,920	6,920	6,920	8,000
	特別支援補助業務委託料	1,117,200	1,150,800	1,150,800	1,204,000
合 計		1,124,120	1,157,720	1,157,720	1,212,000

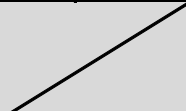
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		1,124,120	1,157,720	1,157,720	1,212,000
合 計				1,124,120	1,157,720	1,157,720	1,212,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.25	1,458,639		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	特別支援補助教員の配置人数	活動	1人	1人	1人	1人
			1人	1人	1人	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策
A		

今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

教育総務課

総務係

No 259

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	3	高等学校・高等教育機関との連携・活用	1	高等学校との連携
	実施計画名		事務事業名			
6	山口東京理科大学連携事業		2	山陽小野田市「かがく博覧会」開催事業		

事業 概要	山口東京理科大学との包括的連携協定に基づき、科学の祭典として、多数の来場者を見込める市内の大型ショッピングセンターで、2日間開催する。市内の4つの高校、山口東京理科大学、6つ程度の企業がブースを出展するとともに、市内の小・中学生が作成した科学作品を展示し、優秀作品を表彰する。	対象	小学生から高校生までとその保護者
		手段	実験を体験できるブースの出展と科学作品の展示
		意図	科学に対する興味や関心を持って未来に飛躍する人材が育つきっかけを作る

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	かがく博負担金	446,089	457,373	472,575	500,000
合 計		446,089	457,373	472,575	500,000

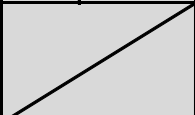
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金		472,575	500,000	
		一般財源		446,089	457,373		
合 計				446,089	457,373	472,575	500,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.55	3,209,006		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	来場者数	活動	3,800人	3,800人	3,800人	3,800人
			3,650人	3,250人	3,780人	
			96.1%	85.5%	99.5%	
2	ブースの出展数	活動	26ブース	26ブース	26ブース	26ブース
			25ブース	26ブース	25ブース	
			96.0%	96.0%	96.0%	
3	来場者アンケートに回答した小学生から高校生までのうち、理科に関心・興味が「高まった」又は「少し高まった」と回答した割合	成果			168人	昨年より上回る
					161人	
					95.8%	

H29 目標 達成 度	B		課題及び改善策	
			中高生の来場者が非常に少ない。薬工系となった山口東京理科大学と一層連携を強化するとともに、ブース出展者に中高生の来場者の増加に繋がるアイデアを求める等工夫する。	

今後の方向性					
成果の方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記 事項	
----------	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	3	高等学校・高等教育機関との連携・活用	2	高等教育機関の充実・活用や高等教育機関との連携
	実施計画名		事務事業名			
	4	公立大学法人山口東京理科大学運営事業	2	公立大学法人山口東京理科大学運営費交付金事業		

事業概要	地方独立行政法人法第42条の規定に基づき、山陽小野田市が設立した公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の業務の財源に充てるために、運営費交付金を交付する。		対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学
			手段	運営費交付金を交付する
			意図	公立大学法人の業務の財源に充てるために必要な金額を交付する。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	運営費交付金		771,023,000	1,545,085,000	1,542,915,000
合 計		0	771,023,000	1,545,085,000	1,542,915,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	公立大学法人運営基金	322,814,000	216,944,000	238,059,000	
		一般財源		448,209,000	1,328,141,000	1,304,856,000	
合 計				0	771,023,000	1,545,085,000	1,542,915,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.15	875,183		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学工学部の学生数(収容定員200人×4年=800人)	成果		880	880	973
				896	941	
				101.8%	106.9%	
2	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部学生数(収容定員120人×6年=720人)	成果				120
3	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学大学院の学生数(工学研究科/工学専攻:収容定員39人)	成果		39	30	29
				26	30	
				66.7%	100.0%	

H29 目標 達成 度	➡	課題及び改善策				
A		運営費交付金は、地方独立行政法人法の規定に基づき、市が定めた中期目標を達成するために活動する公立大学法人の持続的な運営を確保することを目的として交付されている。算定にあたっては、公立大学法人の業務や果たすべき役割を十分に踏まえつつ、より自律的、効率的な法人運営に資するよう、交付金算定ルールの確立に取り組む必要がある。				
		今後の方向性				
成果の 方向性	拡充		④	②	①	
	現状維持		③	⑤ ✓		
	縮小		⑥			
	休廃止	⑦				
		皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

特記事項	
------	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	3	高等学校・高等教育機関との連携・活用	2	高等教育機関の充実・活用や高等教育機関との連携
	実施計画名		事務事業名			
	4	公立大学法人山口東京理科大学運営事業	3	公立大学法人山口東京理科大学運営基金積立事業		

事業概要	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の健全な運営を支援するため、山陽小野田市公立大学法人運営基金条例に基づき、公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の施設整備等のため、基金を設置し計画的に積立を行う。		対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学	
			手段	基金積立	
			意図	将来の大学の施設整備等のため、計画的に基金を積み立て、健全な運営を保つ。	

歳出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	積立金		1,349,868,597	9,761	122,323,000
合計		0	1,349,868,597	9,761	122,323,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	大学施設整備負担金/利子	285,015,597	9,761	42,000	
		一般財源		1,064,853,000	0	122,281,000	
合 計				0	1,349,868,597	9,761	122,323,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	山陽小野田市公立大学法人運営基金の年度末残高	成果		1,210,400千円	810,134千円	756,755千円
				1,349,869千円	871,582千円	
				111.5%	107.6%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A	課題及び改善策		今後の方向性				
成果の 方向性		拡充		④	②	①		
		現状維持		③	⑤ ✓			
		縮小		⑥				
		休廃止	⑦					
			皆減	縮小	現状維持	拡大		
			コスト投入の方向性					

特記事項	
------	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり	3	高等学校・高等教育機関との連携・活用	2	高等教育機関の充実・活用や高等教育機関との連携
	実施計画名		事務事業名			
	5	公立大学法人山口東京理科大学薬学部校舎建設事業	1	公立大学法人山口東京理科大学薬学部校舎建設事業		

事業概要	山陽小野田市立山口東京理科大学に、平成30年4月に薬学部を設置するため、薬学部の教育研究活動に必要な校舎、研究機器類などの施設設備の整備を行う。なお、校舎の整備については平成30年度末まで、研究機器類の整備については平成31年度末までに完了する。	対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学		
		手段	薬学部校舎及び設備の整備		
		意図	高等教育機関の充実・活用のため、薬学部を設置する。		

歳出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	事務費(職員手当ほか)		4,556,774	7,441,166	4,370,000
	委託料		74,680,920	12,262,320	49,520,000
	工事請負費		2,716,699,840	3,200,005,400	2,563,287,120
	公有財産購入費		439,503,622		
	備品購入費			809,915,901	690,096,099
合計		0	3,235,441,156	4,029,624,787	3,307,273,219

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債	95%、75%	3,216,100,000	3,279,300,000	2,487,900,000	
		その他	基金繰入金等		265,452,000		
		一般財源		19,341,156	484,872,787	819,373,219	
合 計				0	3,235,441,156	4,029,624,787	3,307,273,219

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				8.1	38,452,015		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	薬学部校舎等建設スケジュール	活動	設計	設計・工事	工事、備品	薬学部開設 工事、備品
			設計	設計・工事	工事、備品	
			100.0%	100.0%	77.8%	
2	薬学部研究機器類整備額	活動		業者選定	1,360,000千円	160,000千円
				業者選定	809,916千円	
				100.0%	59.6%	
3						

H29 目標 達成度	C	➡	課題及び改善策	今後の方向性					
			平成30年4月の薬学部開学にむけて、薬学部 の教育研究に必要な校舎等の整備を平成29年度 末までに完了する予定としていたが、一部の事業 を平成30年度に繰り越す結果となった。平成30年 度は、これらの施設整備を完了させるとともに、外 構工事や研究機器類の整備を行うこととしてい る。また、平成31年度には、運動場やテニスコート の整備を行う予定であり、今後も整備事業が続く ことから、公立大学の円滑な運営の支障とならな いよう、大学との調整を図りながら、計画的に事業 を推進する必要がある。	成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓	
				縮小		⑥			
				休廃止	⑦				
					皆減	縮小	現状維持	拡大	
					コスト投入の方向性				

特記事項	平成30年度予算額のうち、2, 417, 405, 219円は平成29年度予算からの繰越明許費。
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

社会教育課

No 263

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	生涯学習推進体制の充実	2	社会教育施設の充実
	実施計画名		事務事業名			
7	きらら交流館施設運営事業		2	宿泊研修施設きらら交流館施設改修事業		

事業概要	きらら交流館は開館して16年が経過して耐用年数を超えて使用している設備等があり、老朽化した箇所の突発的な故障への対応が必要となっている。指定管理者との協定に基づき、市が対応することになっているものを改修又は修繕する。	対象	きらら交流館の施設、設備
		手段	改修、修繕
		意図	公共施設の適正管理

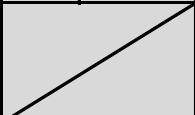
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	消耗品費	0	0	1,325,700	433,000
	修繕料	4,077,496	4,435,171	7,894,173	2,000,000
	庁用器具費	720,468	0	0	0
	機械器具費	2,581,200	2,495,847	0	0
合 計		7,379,164	6,931,018	9,219,873	2,433,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金		0	0	0	0
		県支出金		0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
		一般財源	7,379,164	6,931,018	9,219,873	2,433,000	
合 計				7,379,164	6,931,018	9,219,873	2,433,000

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.2	1,166,911		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	修繕件数	活動	17件	14件	17件	-
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策				
		トロン温泉の機械設備は、修繕が相次いでおり、大規模改修が必要な時期を迎えている。施設の今後の方向性を踏まえ、対処する。				
		今後の方向性				
	成果の 方向性	拡充		④	②	①
		現状維持		③	⑤ ✓	
		縮小		⑥		
		休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

社会教育課

No 264

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	生涯学習推進体制の充実	2	社会教育施設の充実
	実施計画名		事務事業名			
	8	青年の家施設運営事業	2	青年の家施設改修事業		

事業概要	昭和51年開設の青年の家は、施設の老朽化が顕著であり、特に旧山陽パークの入場棟は老朽化による損傷が酷く、早期の解体が必要であり、他に先行して解体する。	対象	青年の家の施設、設備
		手段	修繕、改修、解体撤去
		意図	施設の適正管理

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	消耗品費	0	0	285,682	0
	アスベスト調査委託料	0	0	270,000	0
	廃棄物処分委託料	0	0	118,800	0
	工事請負費	0	0	7,711,200	0
合 計		0	0	8,385,682	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金		0	0	0	0
		県支出金		0	0	0	0
		地方債	90%	0	0	6,900,000	0
		その他		0	0	0	0
		一般財源		0	0	1,485,682	0
合 計				0	0	8,385,682	0

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.35	1,636,132		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	入場棟の解体	活動			完了 完了 100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性				
A		天文館、研修棟、プールを平成32年以降に解体する予定であり、その跡地利用が未定である。このため、まず青年の家将来構想検討プロジェクトチームで検討する。	成果の方向性	拡充	④	②	①
			現状維持	③	⑤	✓	
			縮小	⑥			
			休廃止	⑦			
				皆減	縮小	現状維持	拡大
			コスト投入の方向性				

特記事項	※地方債(公共施設等適正管理事業債(除却)90%)
------	---------------------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

社会教育課

中央公民館

No 265

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	生涯学習推進体制の充実	2	社会教育施設の充実
	実施計画名		事務事業名			
27	公民館施設整備事業		1	公民館施設改修事業		

事業概要	公民館の使用に支障が生じないよう、老朽化した施設や設備を改修又は修繕する。平成29年度は、本山公民館の多目的トイレの自動扉を修繕した。	対象	公民館の施設、設備
		手段	修繕、改修
		意図	公共施設の適正管理

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事請負費		15,595,200	521,640	940,000
合 計		0	15,595,200	521,640	940,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金			0	0	0
		県支出金			0	0	0
		地方債			0	0	0
		その他	地域公益事業		0	521,640	940,000
		一般財源			15,595,200	0	0
合 計				0	15,595,200	521,640	940,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.05	288,716		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	修繕件数	活動			1件	1件
					1件	
					100.0%	
2	改修件数	活動		2件		
				2件		
				100.0%		
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
A		出合公民館、厚陽公民館は旧耐震基準による建築物であり、耐震診断と必要に応じた耐震改修工事が必要である。また、全ての公民館のバリアフリー化が必要であり、トイレの洋式化、2階建ての建物にエレベーターの設置が必要である。	成果の方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤ ✓	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
							皆減	縮小
コスト投入の方向性								

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

中央図書館

No 266

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	生涯学習推進体制の充実	2	社会教育施設の充実
	実施計画名		事務事業名			
4	中央図書館施設整備事業		1	中央図書館空調機器更新事業		

事業概要	空調機器は設置から20年が経過しており、故障が頻発、維持管理費が嵩んでいる状態であることから、空調機器を更新する。	対象	空調機器
		手段	空調設備機器の更新
		意図	利用者へ快適な環境の提供

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事請負費			34,884,000	
	庁用器具費			3,369,600	
	普通旅費			103,080	
合 計		0	0	38,356,680	0

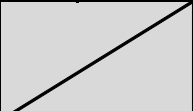
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債	75%		26,100,000		
		その他					
		一般財源			12,256,680		
合 計				0	0	38,356,680	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.25	1,165,043		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	工事の進捗状況	活動			完了 完了 100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A		課題及び改善策	
			平成29年度にて事業終了	

今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	平成29年度で終了。一般事業債(充当率75%)
------	-------------------------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	生涯学習推進体制の充実	3	社会教育活動の充実
	実施計画名		事務事業名			
	5	読書活動推進事業	3	山陽小野田市子ども読書活動推進計画推進事業		

事業概要	平成25年に策定した第二次計画に基づき、子どもの読書活動を推進するため、主に「マタニティ・ブックスタート」、「絵本でわくわく子育て講座」、幼児向け(3才～5才)ブックリストの作成等を行う。また、第二次計画が平成29年度で終了するため、平成30年度から5年間の第三次計画を策定する。				対象	市民
					手段	講演会の開催、ブックリストの作成
					意図	子どもの読書機会の拡充、図書館・学校図書館等の環境整備、保護者の読書活動への理解推進

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	講師謝礼	617,000	635,000	635,000	526,000
	図書購入費(児童書)	4,984,311	4,183,098	4,051,534	2,505,305
	消耗品費	576,073	954,250	945,525	902,263
	マーク作成委託料	153,678	143,332	153,955	86,575
	その他	32,476	33,281	36,556	44,160
合 計		6,363,538	5,948,961	5,822,570	4,064,303

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金		1,167,541	1,088,945	1,088,945
		一般財源		6,363,538	4,781,420	4,733,625	2,975,358
合 計				6,363,538	5,948,961	5,822,570	4,064,303

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				4.2	12,413,255		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	「絵本でわくわく子育て講座」参加者数 ※H29より「絵本で子育て出前講座」に変更	活動	500人	200人	200人	200人
			95人	136人	364人	
			19.0%	68.0%	182.0%	
2	個人への児童書の貸出冊数	活動	56,000冊	86,000冊	85,000冊	85,000冊
			101,339冊	118,478冊	117,441冊	
			181.0%	137.8%	138.2%	
3	マタニティ・ブックセットの配布数	活動	466人	438人	446人	全件
			246人	475人	534人	
			52.8%	108.5%	119.7%	

H29 目標 達成 度	課題及び改善策	
	年度内に第三次計画を策定できなかった。平成30年度早急に策定する。	
A		

今後の方向性					
成果の方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	H28年10月から、マタニティ・ブックセットの配布は、母子健康手帳の交付と同時にっており、配布数の目標値を本市で母子健康手帳の交付を受けた人数としている。また、他市町村で母子健康手帳の交付を受け、お子さんが1歳6ヶ月になる前に本市に転入された人にも配布しており、配布率が100%を超えている。
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

中央・厚狭図書館

No 268

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	生涯学習推進体制の充実	3	社会教育活動の充実
	実施計画名		事務事業名			
	3	図書館管理運営事業	2	新刊図書等購入事業		

事業概要	近年、少子高齢化、高度情報化等が急速に進む中で、地域課題の増加や市民の学習意欲に対応した図書館資料の充実が求められている。このため、各分野の新刊図書や最新情報を入手できる雑誌等を拡充する。	対象	図書館利用者
		手段	レファレンス図書、専門図書、雑誌、新聞等の購入
		意図	地域の情報拠点としての役割を果たす

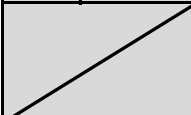
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	図書購入費	4,552,375	5,740,148	6,034,333	8,131,651
	消耗品費	1,522,659	1,450,271	1,377,741	1,418,794
	マーク作成委託料	267,522	277,868	267,245	345,425
合 計		6,342,556	7,468,287	7,679,319	9,895,870

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金	2,032,459	2,111,055	2,111,055	
		一般財源	6,342,556	5,435,828	5,568,264	7,784,815	
合 計			6,342,556	7,468,287	7,679,319	9,895,870	

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				1.6	4,800,835		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	貸出冊数 ※個人への児童書貸出を除く	活動	199,000冊	306,000冊	305,000冊	310,500冊
			256,326冊	283,043冊	271,065冊	
			128.8%	92.5%	88.9%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策				
B						
		今後の方向性				
成果の 方向性	拡充		④	②	①	
	現状維持		③	⑤ ✓		
	縮小		⑥			
	休廃止	⑦				
		皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

社会教育課

歴史民俗資料館

No 269

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	1	文化財の保護・継承
	実施計画名		事務事業名			
	1	文化財関連施設整備事業	1	歴史民俗資料館管理運営事業(企画展)		

事業概要	平成29年度は、厚狭図書館共同企画展「古写真の情報を下さい」、企画展「発掘された山口巡回展」、「戦争の記憶2017」、「学校の歴史ー地域と学校ー」、講演会「幕末・維新期への想い」、「山口県文書館所蔵史料でたどる学び舎の記憶」を開催した。	対象	市民・県民・歴史愛好家
		手段	企画展・講演会を開催する
		意図	市の歴史を様々な角度から紹介し、市民には郷土愛を育み、市外の人には本市に関心を持ってもらう

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	講師謝礼	14,000	7,000	7,000	15,000
	普通旅費	0	10,400	2,700	11,000
	消耗品費	80,000	60,000	110,094	51,000
	印刷製本費	117,000	84,000	130,680	84,000
	通信運搬費・手数料	77,514	76,295	112,188	151,000
合 計		288,514	237,695	362,662	312,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金		0	0	0	0
		県支出金		0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
		一般財源		288,514	237,695	362,662	312,000
合 計			288,514	237,695	362,662	312,000	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.85	2,607,384		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	企画展・講演会開催回数	活動	6回	5回	6回	5回
			6回	5回	6回	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	企画展・講演会入場者数	活動	4,000人	3,000人	4,000人	2,500人
			3,790人	2,557人	3,104人	
			94.8%	85.2%	77.6%	
3						

H29 目標 達成 度	➡	課題及び改善策				
B		入場者数の目標を達成するため、魅力ある企画展を開催し、広報活動を充実させる。目標値の設定に当たっては、企画展の内容や対象を踏まえ、十分に精査する。				
		今後の方向性				
	成果の 方向性	拡充		④	②	① ✓
		現状維持		③	⑤	
		縮小		⑥		
		休廃止	⑦			
			皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性				

特記事項	平成30年度は、明治150年記念特別展を開催するが、事務事業を別枠としているため、目標はこれを除いた5回としている。入場者数も同様に、特別展を除いた人数を記載している。
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

社会教育課

歴史民俗資料館

No 270

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	1	文化財の保護・継承
	実施計画名		事務事業名			
	1	文化財の保護・継承	2	古文書・典籍類整理事業		

事業概要	本市の歴史を研究する上で必要と思われる未整理の古文書・典籍類がある。それらを文化財として後世に継承するため、害虫などから守ることができる専用の袋や箱に保管する。また、目録化して、活用しやすくする。	対象	未整理の古文書・典籍類
		手段	専用の袋や箱に保管し、目録化する
		意図	文化財の継承

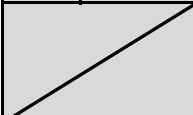
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	消耗品費			42,984	45,000
合 計		0	0	42,984	45,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金			0	0	
		県支出金			0	0	
		地方債			0	0	
		その他			0	0	
		一般財源			42,984	45,000	
合 計			0	0	42,984	45,000	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.5	1,449,279		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	目録化し、専用の袋・箱に保管した資料数	活動			200	200
					200	
					100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策			
A					
今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

社会教育課

文化財係

No 271

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	2	文化財の活用
	実施計画名		事務事業名			
24	文化財保存整備事業		2	「旧小野田セメント製造株式会社堅窯」補修補助事業		

事業概要	国の重要文化財である堅窯は明治16年に建造されたもので、長年の風雨により表面が脆くなっている。これ以上劣化しないよう、所有者により確実に補修されるよう、市文化財保存修理補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。	対象	文化財
		手段	補修工事に対する所有者への補助
		意図	文化財保護、観光資源の価値向上

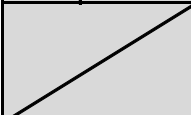
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	文化財保存修理補助金	0	407,000	417,000	416,000
合 計		0	407,000	417,000	416,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金		0	0	0	0
		県支出金		0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0
		その他	ふるさと支援基金繰入金	0	0	0	400,000
		一般財源		0	407,000	417,000	16,000
合 計				0	407,000	417,000	416,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.1	583,456		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	補助金の交付	活動		工事費の1/4補助 工事費の1/4補助 100.0%	工事費の1/4補助 工事費の1/4補助 100.0%	工事費の1/4補助
2						
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性					
A			成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤ ✓	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
					皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性								

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

シティセールス課

市民館

No 272

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり
	実施計画名		事務事業名			
	1	市民館管理運営事業(文化ホール)	4	市民館管理運営事業(複合機更新)		

事業概要	市民館の複合機は導入後8年が経過、FAX機は12年が経過しており、不具合が多く発生している。そのため、複写機をFAX付きカラー複合機に更新し、事務の効率化を図る。	対象	事務機器(複合機)
		手段	更新
		意図	事務効率化・コスト節減

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	備品購入費			388,800	0
合 計		0	0	388,800	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源			388,800		
合 計			0	0	388,800	0	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	カラー複合機設置	活動			1台	
					1台	
					100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A		課題及び改善策					
不具合による印刷ミスや紙詰まりが無くなり、事務効率化を図ることができた。また、コスト効率化の図られた最新機器の導入によりメンテナンスやコピーチャージに係る経費も節減でき、課題は見当たらない。								
			今後の方向性					
			成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
				皆減	縮小	現状維持	拡大	
				コスト投入の方向性				

特記事項	「平成29年度終了」
------	------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

シティセールス課

市民館

No 273

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり
	実施計画名		事務事業名			
	3	市民館維持整備事業	8	市民館整備事業		

事業概要	市民の安全を確保し、かつ利便性の向上を図るため、市民館の耐震補強工事や設備改修工事を実施する。 (主な事業) 文化ホール・体育ホール耐震化工事、エレベーター設置工事、吊天井耐震化工事、客席椅子更新、ロビーバリアフリー化、玄関ドア改修、トイレ改修 等	対象	市民館
		手段	市民館の耐震補強工事及び設備改修工事
		意図	芸術文化を育む環境づくり

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	地質調査委託料			3,856,680	0
	工事監理委託料			0	14,085,000
	設計委託料			18,831,960	7,349,000
	工事請負費			0	297,228,000
	その他			500,176	1,764,000
合 計		0	0	23,188,816	320,426,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	11.5%				16,666,000
		県支出金					
		地方債	100・95%			22,700,000	286,100,000
		その他					
		一般財源				488,816	17,660,000
合 計				0	0	23,188,816	320,426,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.35	2,042,095		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	市民館耐震改修等工事実施設計 地質調査	活動			設計・調査 実施 100.0%	
2	文化ホール耐震改修、吊天井工事、エレベーター設置工事 等 ロビーバリアフリー工事他実施設計	活動				工事・設計
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性						
A		施設は建築後43年以上を経過しているため、建物本体と同様に設備も老朽化している。耐震改修が主な事業ではあるが、改修後は20年から25年ほどは利用することとなるため、設備についても順次改修していく必要がある。	成果の 方向性	拡充		④	②	①	
				現状維持		③	⑤	✓	
				縮小		⑥			
				休廃止	⑦				
				皆減	縮小	現状維持	拡大		
		コスト投入の方向性							

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

文化振興課

No 274

施策 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり
	実施計画名		事務事業名			
	3	世代別市民文化度育成事業	1	アウトリーチ事業		

事業概要	(財)地域創造の「公共ホール音楽活性化事業」を実施した経験を生かし、市独自でH26年度からのアウトリーチ事業として継続実施する。市内中学校2ヶ所と市内2ヶ所でアーティストによる出前コンサートを実施する。(中学校は3年間で市内6校を一巡する)				対象	市内小・中学校、障害者施設、商業施設など
					手段	出前コンサートを4ヶ所で行う。
					意図	芸術文化の環境づくり、創造性豊かな地域づくりにつなげる。

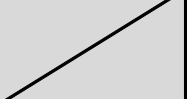
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	講師謝礼	222,741	445,483	222,740	250,000
	食料費			1,350	1,000
	手数料	21,600	42,120	32,400	44,000
合 計		244,341	487,603	256,490	295,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	244,341	487,603	256,490	295,000	
合 計			244,341	487,603	256,490	295,000	

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.1	583,456		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	アウトリーチ実施回数	活動	4回	4回	4回	4回
			3回	4回	4回	
			75.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A		課題及び改善策		今後の方向性				
			今後も、計画どおり事業を継続することが適当である。		成果 の 方向 性	拡充		④	②
	現状維持		③	⑤		✓			
	縮小		⑥						
	休廃止	⑦							
				皆減	縮小	現状維持	拡大		
				コスト投入の方向性					

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

文化振興課

No 275

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり
	実施計画名		事務事業名			
5	地域文化意識向上創造事業		1	文化ふれあい事業		

事業概要	市内では本物の芸術文化公演を鑑賞する機会が少なく、特に日本の伝統芸能分野の公演機会は少ない。こうした芸術文化に親しみ育む環境を醸成するため実施する。(子ども文化ふれあい事業で昼公演を行い、一般対象に夜公演を行う)	対象	市民
		手段	伝統芸能分野の文化事業を実施。
		意図	芸術文化を育む環境づくりを行う。

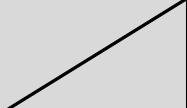
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	消耗品	31,868	17,150	20,908	0
	印刷製本費 印刷業務委託	179,280	104,760	36,892	0
	広告料	81,000	86,400	136,728	0
	公演業務委託料	1,731,400	875,000	3,200,000	0
	その他	144,048	112,858	240,255	0
合 計		2,167,596	1,196,168	3,634,783	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金				0	
		県支出金				0	
		地方債				0	
		その他	287,000	694,000	1,653,500	0	
		一般財源	1,880,596	502,168	1,981,283	0	
	合 計			2,167,596	1,196,168	3,634,783	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.35	1,636,132		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	公演実施回数	活動	1回	1回	1回	
			1回	1回	1回	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	入場者数	活動	746人	746人	746人	
			100人	319人	576人	
			13.4%	42.8%	77.2%	
3						

H29 目標 達成 度	B		課題及び改善策		今後の方向性					
子ども文化ふれあい事業と連動しており、昼の部(小学校6年生)による無料鑑賞と夜の部(一般対象)として入場料を徴収しているため、児童向けと一般の集客を見込んだバランスをとることが難しい。			成果の 方向性	拡充		④	②	①		
				現状維持		③	⑤			
				縮小		⑥				
				休廃止	⑦	✓				
				コスト投入の方向性						
皆減					縮小	現状維持	拡大			

特記事項	H30年度は夜公演を実施しない。
------	------------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

文化振興課

No 276

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり
	実施計画名		事務事業名			
	3	世代別市民文化度育成事業	2	子ども文化ふれあい事業		

事業概要	子どもたちは本物の芸術文化に触れる機会が少なく、これまで、児童生徒を対象にした、芸術文化鑑賞の機会があまりなかったので、将来を担う子どもたちに文化会館での生の鑑賞機会を市内小学生を対象に提供する。	対象	市内小学生
		手段	昼1回公演(昼公演/小学6年生対象)
		意図	子どもたちに生の鑑賞機会を提供、文化的な感動を体感させる。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	自動車借上料	570,240	610,200	564,840	0
	バス運行業務委託料				698,000
	保険料	13,183	13,525	12,583	14,000
	公演業務委託料				500,000
	その他				83,000
合 計		583,423	623,725	577,423	1,295,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	583,423	623,725	577,423	1,295,000	
	合 計			583,423	623,725	577,423	1,295,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.25	1,052,676		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	公演実施回数	活動	1回	1回	1回	1回
			1回	1回	1回	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	入場者数	活動	569人	569人	600	600人
			618人	632人	591人	
			108.6%	111.1%	98.5%	
3						

H29 目標 達成 度	B	➡	課題及び改善策		今後の方向性				
			文化ふれあい事業と連動しており、昼の部(小学校6年生)による無料鑑賞と夜の部(一般対象)として入場料を徴収しているため、児童向けと一般の集客を見込んだバランスをとることが難しい。	成果の方向性	拡充	④	②	①	
				現状維持	③	⑤	✓		
				縮小	⑥				
				休廃止	⑦				
					皆減	縮小	現状維持	拡大	
					コスト投入の方向性				

特記事項	H29年度までは夜公演で公演業務委託料を予算化していた。H30年度は夜公演がないため、子ども文化ふれあい事業で公演業務委託料を予算化した。
------	---

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

文化振興課

No 277

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり
	実施計画名		事務事業名			
5	地域文化意識向上創造事業		(主催文化事業)フランスバロック音楽コンサート2017			

事業概要	世界的に有名なフランスのギター三重奏団「トリオ、ニテティス」はパリ大学の音楽学者の演奏集団で、フランスバロック音楽を紹介するために演奏活動を続けている。西洋近代音楽に発展したイタリア・ドイツのバロックとは全く違うフランスバロック音楽は、優雅で一種独特な雰囲気を持つといわれており鑑賞する機会が少ない。このフランスバロック音楽に馴染んでいただくことで文化度の向上を図る。	対象	全市民
		手段	国際的なアーティストによる芸能分野の文化事業を実施する。
		意図	芸術文化を育む環境づくりを行う。

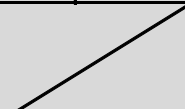
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	消耗品			4,680	
	印刷製本費			25,920	
	公演業務委託料			430,000	
	著作権使用料			2,215	
	その他			2,832	
合 計		0	0	465,647	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他			203,000		
		一般財源			262,647		
合 計			0	0	465,647	0	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	公演実施回数	活動			2回	
					2回	
					100.0%	
2	入場者数	活動			200人	
					126人	
					63.0%	
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策				
C						
		今後の方向性				
成果の 方向性	拡充		④	②	①	
	現状維持		③	⑤		
	縮小		⑥			
	休廃止	⑦				
		皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

特記事項	『平成29年度終了』
------	------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

文化振興課

No 278

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり
	実施計画名		事務事業名			
5	地域文化意識向上創造事業		3	(主催文化事業)映画 ふたりの桃源郷		

事業概要	映画「ふたりの桃源郷」は、山口放送が開局60周年記念事業として永年に渡って取材し制作した長編ドキュメンタリー映画である。県内外でも多くの市町村で上映され、「文化庁芸術祭大賞」を受賞した映画である。内容は、岩国市美和町の山奥で暮らすふたりの老夫婦の自給自足の生活と、離れて暮らしながら、ふたりを見守る家族の葛藤と模索を描いたもので「現代における“幸せの形”」のヒントを伝えようとしている。	対象	全市民
		手段	良質な映画を上映する。
		意図	芸術文化を育む環境づくりを行う。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	消耗品			680	
	印刷製本費			25,920	
	物品借上料			160,380	
	通信運搬費			1,361	
合 計		0	0	188,341	0

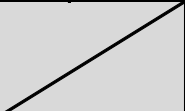
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他			123,500		
		一般財源			64,841		
合 計			0	0	188,341	0	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	上映回数	活動			4回	
					4回	
					100.0%	
2	入場者数	活動			430人	
					237人	
					55.1%	
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	
C			

今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	『平成29年度終了』
------	------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

文化振興課

No 279

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり
	実施計画名		事務事業名			
6	きららガラス未来館整備事業		1	きららガラス未来館維持整備事業(溶解炉)		

事業概要	当館は、開館後13年が経過し、ガラス作品を製作するための設備である溶解炉、グローリーホール、徐冷炉はガラス工房の心臓部といえるものであり、すでに耐用年数(概ね5～7年程度)も過ぎ更新の時期となっているが、当面は劣化部品等の交換等の小規模修繕を実施し現施設の延命を図る。	対象	きららガラス未来館
		手段	計画的な修繕
		意図	施設の維持管理

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	修繕料	1,508,220	724,680	488,160	500,000
合 計		1,508,220	724,680	488,160	500,000

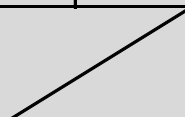
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	交付金	1,150,200			
		一般財源		358,020	724,680	488,160	500,000
合 計				1,508,220	724,680	488,160	500,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.1	583,456		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	修繕箇所	活動	1件	1件	1件	1件
			1件	1件	1件	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A		課題及び改善策	
			当面は、小規模修繕による延命化を図っている。 今後、具体的な更新時期を検討する必要がある。	

今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	
------	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり
	実施計画名		事務事業名			
6	きららガラス未来館整備事業		2	きららガラス未来館維持整備事業(外壁)		

事業概要	当館は、開館後13年が経過し、施設等に修繕が必要になっている。当館は海に隣接する位置にあり、外壁の劣化が著しく、ひび割れが発生してきており放置できない状態になっていることから、計画的に修繕する。	対象	きららガラス未来館
		手段	計画的な修繕
		意図	施設の維持管理

歳出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	修繕料	1,150,200	820,800	810,000	
合計		1,150,200	820,800	810,000	0

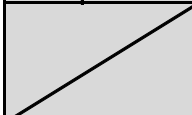
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	1,150,200	820,800	810,000		
合 計				1,150,200	820,800	810,000	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.1	583,456		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	修繕箇所	活動	1件	1件	1件	
			1件	1件	1件	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A		課題及び改善策	
			当面は、外壁3面の修繕が終了したが、海に隣接しているため、外壁の劣化が早いために数年後には同様の修繕が必要になる。また、西側のセメント板・アルミ製ジャロジーの改修も必要となる。	

今後の方向性					
成 果 の 方 向 性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	『平成29年度終了』
------	------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

文化振興課

No 281

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり
	実施計画名		事務事業名			
	2	文化会館維持整備事業	1	吸収冷温水機基盤交換事業		

事業概要	館内の集中冷暖房設備の根幹である吸収冷温水器の操作盤の経年劣化による部品不良と思われる不具合が生じた。すでに交換部品が製造中止となり存在しないため、代替品で基盤すべてを交換する。29年度は1号機を実施し、30年度は残った2号機を実施する。	対象	文化会館
		手段	施設面の適正管理による質の高い施設環境及びサービスの提供
		意図	多くの市民に気軽に文化に触れてもらうことによる文化力の底上げ

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	修繕料			1,296,000	1,836,000
合 計		0	0	1,296,000	1,836,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源			1,296,000	1,836,000	
合 計			0	0	1,296,000	1,836,000	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	修繕箇所	活動			1件	1件
					1件	
					100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
C		当面は、基盤交換により設備の延命化が図られたが、設備自体の更新を検討していく必要がある。	成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
							皆減	縮小
コスト投入の方向性								

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

文化振興課

No 282

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	2	芸術文化活動の推進
	実施計画名		事務事業名			
	1	ガラス文化推進事業	1	ガラス文化推進事業		

事業概要	故竹内傳治氏の遺志を受け、2001年に第1回「現代ガラス展inおのだ」を開催した。これを継承し、2004、2006、2009、2012、2015年と開催は6回を数え、「ガラスのまち山陽小野田」の象徴的なイベントとなった。また、若手作家の登竜門コンペとして確固たる地位も築いた。今後もガラス展を継承し、ガラス文化の推進を図る。第7回は平成30年度開催を予定。(3年毎開催)			対象	全市民及び全国
				手段	ガラス展の開催
				意図	ガラス文化の推進

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	現代ガラス展実行委員会負担金	5,299,557		3,000,000	4,100,000
	現代ガラス展実行委員会負担金(明治150年関連)				200,000
合 計		5,299,557	0	3,000,000	4,300,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		5,299,557		3,000,000	4,300,000
合 計				5,299,557	0	3,000,000	4,300,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				1.35	7,470,688		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	入場者数	活動	8000人			9500人
			9425人			
			117.8%			
2						
3						

H29目標達成度	課題及び改善策		今後の方向性				
	第8回の開催時期等の実施計画を早期に策定する必要がある。		成果の方向性	拡充	④	②	① ✓
				現状維持	③	⑤	
				縮小	⑥		
				休廃止	⑦		
B				皆減	縮小	現状維持	拡大
				コスト投入の方向性			

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

文化振興課

No 283

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	2	芸術文化活動の推進
	実施計画名		事務事業名			
4	芸術文化活動支援育成事業		1	(仮称)山陽小野田市かるた競技振興連絡会議の設立		

事業概要	本市は、昭和40・50年代には日本の伝統文化であるかるた競技が盛んで、2人のクイーンを輩出し、「かるたのまち小野田」として、全国的に有名であった。近年、小野田高校でかるた部が新設され、全国大会出場を果たし、再びかるた競技が盛んになっている。本市の「かるたの振興」、「かるたによるまちづくり」を進め、文化振興、交流人口の拡大及び「かるたのまち山陽小野田」を全国発信するための連絡会議を設立する。	対象	本市及び全国
		手段	かるた関係者による連絡会議の開催
		意図	かるたの再興によるまちづくり及び全国発信

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	報奨金			0	40,000
	旅費				6,000
	消耗品				3,000
	保険料				3,000
合 計		0	0	0	52,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源			0	52,000	
合 計			0	0	0	52,000	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.15	875,184		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	連絡会議開催	活動			2	2
					1	
					50.0%	
2						
3						

H29目標達成度	課題及び改善策		今後の方向性				
C	今後どのような手法でかるた競技を広めていくのか、そのためにはどのような方にメンバーに加わっていただくのかなど方向性の決定が必要。		成果の方向性	拡充	④	② ✓	①
				現状維持	③	⑤	
				縮小	⑥		
				休廃止	⑦		
				皆減	縮小	現状維持	拡大
				コスト投入の方向性			

特記事項	H29年度はゼロ予算事業
------	--------------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	1	スポーツ・レクリエーション施設の充実
	実施計画名		事務事業名			
	1	体育施設維持整備事業	7	弓道場床改修工事		

事業概要	昭和57年建設。射場、廊下、更衣室のほぼ全体的に床板の腐朽が発生しており利用に支障をきたしている。特に射場は人が乗ると床板が沈むため競技に支障をきたしている。利用者から特に修繕要望の高いものである。				対象	弓道場利用者
					手段	床の改修
					意図	該当箇所を改修し安全な施設にする

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事請負費			5,378,400	
合 計		0	0	5,378,400	0

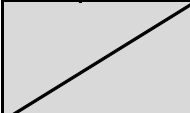
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源			5,378,400		
合 計				0	0	5,378,400	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.15	581,587		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	事業実施	活動			完了	
					完了	
					100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成度		課題及び改善策

今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	「平成29年度終了」
------	------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

スポーツ振興課

No 285

施策 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	1	スポーツ・レクリエーション施設の充実
	実施計画名		事務事業名			
	1	体育施設維持整備事業	3	卓球台更新事業		

事業概要	体育施設の多くに備品の損傷・老朽化が見受けられる。それらが危険を伴うこともあり、各種団体からの要望も年々強くなっている。3ヵ年計画で卓球台を更新するものである。			対象	市民体育館利用者
				手段	卓球台更新
				意図	危険回避及び利用促進

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	備品購入費		591,624	517,752	762,000
	通信運搬費		0	42,120	0
					0
					0
					0
合 計		0	591,624	559,872	762,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金		559,872	700,000	
		一般財源		591,624		62,000	
合 計				0	591,624	559,872	762,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	卓球台更新	活動		3台	3台	3台
				3台	3台	
				100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	➡	課題及び改善策	今後の方向性					
A		・他競技の備品も老朽化しているため計画的に備品の更新をする必要がある。	成果の方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
				皆減	縮小	現状維持	拡大	
				コスト投入の方向性				

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

スポーツ振興課

No 286

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	2	スポーツ・レクリエーション活動の推進
	実施計画名		事務事業名			
	4	生涯スポーツ推進事業	3	生涯スポーツ推進事業(小学生グラウンドゴルフNo.1決定大会)		

事業概要	市内体育施設で、小学生を対象に様々な大会を開催し市内ナンバー1を決定する。併せてトッププレイヤー等を招聘し交流イベントを開催する。	対象	小学生
		手段	様々な大会を開催し、市内ナンバー1を決定する。
		意図	スポーツへの関心を高める。

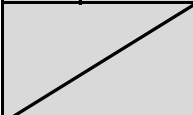
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	報償費	60,000	0	22,000	60,000
	消耗品費	130,259	119,904	43,716	90,000
	保険料	0	2,642	3,979	
	備品購入費	141,696			
	その他	99,330			
合 計		431,285	122,546	69,695	150,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	10/10	431,285			
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金			69,695	100,000
		一般財源			122,546		50,000
合 計				431,285	122,546	69,695	150,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.2	760,948		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	参加者数	活動	610人	150人	100人	150人
			238人	102人	71人	
			39.0%	68.0%	71.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
C		・他のイベントと共同開催することでこの大会を多くの方に知っていただき、大会の周知に役立ったが、より多くの参加が得られるよう日程や種目の検討が必要。	成果の方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
					皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性								

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

スポーツ振興課

No 287

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	2	スポーツ・レクリエーション活動の推進
	実施計画名		事務事業名			
	5	スポーツ団体・指導者育成・支援事業	3	スポーツ推進委員ウェア支給事業		

事業概要	スポーツ推進の核となる「スポーツ推進委員」に定期的(4年ごと)にウェアを支給する。任期が2年で平成29年度が改選である。	対象	スポーツ推進委員
		手段	スポーツ推進委員にウェア支給
		意図	スポーツ推進委員の自覚を持つことでスポーツの振興を図る

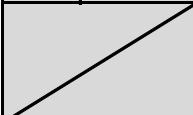
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	消耗品費			464,175	
合 計		0	0	464,175	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源				464,175	
合 計			0	0	464,175	0	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	スポーツ推進委員数	活動	25	25	25	25
			25	25	25	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標達成度	A		課題及び改善策						
スポーツ推進委員の一体感醸成やスポーツ推進委員の活動を知ってもらうため市で統一されたウェアは必要である。									
			今後の方向性						
			成果の方向性	拡充		④	②	①	
				現状維持		③	⑤	✓	
				縮小		⑥			
				休廃止	⑦				
				皆減	縮小	現状維持	拡大		
				コスト投入の方向性					

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

スポーツ振興課

No 288

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	2	スポーツ・レクリエーション活動の推進
	実施計画名		事務事業名			
	8	県立おのだサッカー交流公園運営業務	1	スポーツ交流施設管理・運営事業		

事業概要	本市はレノファ山口のホームタウンであり、スポーツによるまちづくりを更に推進するために、レノファ山口の練習拠点となるべく整備したスポーツ交流施設を適切に管理・運営していく必要がある。	対象	市民及び施設利用者
		手段	管理・運営業務
		意図	スポーツによるまちづくりの推進

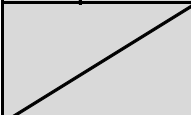
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	光熱水費			385,339	360,000
	警備委託料			421,200	422,000
	清掃委託料			213,408	214,000
	サッカー交流公園運営協会負担金			1,417,739	1,300,000
	その他			173,459	136,000
合 計		0	0	2,611,145	2,432,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	貸付収入・雑入		2,792,538	2,721,000	
		一般財源	財源調整		-181,393	-289,000	
合 計				0	0	2,611,145	2,432,000

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.1	583,456		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	施設利用件数	活動		20件	208件	208件
				25件	170件	
				125.0%	81.7%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策			
B					
今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	歳入(その他内訳)は、貸付収入:スポーツ交流施設貸付料、雑入:スポーツ交流施設維持管理負担金
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

シティセールス課

地域政策係

No 289

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	3	スポーツによるまちづくりの推進
	実施計画名		事務事業名			
	13	スポーツによるまちづくり推進事業	1	レノファ山口とのパートナーシップ事業		

事業概要	山口県唯一のプロスポーツチームであるレノファ山口を活用して、選手等による保育園への訪問などの交流事業を実施する。選手やスタッフ等と市民が交流する場を作ることにより、市民の一体感の醸成、地域活性化やスポーツによるまちづくりを推進する。	対象	市民ほか
		手段	スポーツ交流事業の実施
		意図	スポーツによるまちづくりの推進

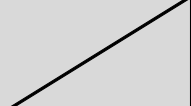
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	スポーツ教室事業委託料	360,000	600,000	600,000	600,000
合 計		360,000	600,000	600,000	600,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金		600,000	600,000	
		一般財源		360,000	600,000		
合 計				360,000	600,000	600,000	600,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.25	1,458,639		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	交流行事の実施回数	活動	9回	12回	12回	12回
			9回	10回	10回	
			100.0%	83.3%	83.3%	
2	交流事業に参加した人数	活動	600人	600人	1000人	1000人
			576人	1230人	1040人	
			96.0%	205.0%	104.0%	
3						

H29 目標 達成 度	B		課題及び改善策				
相手方との連携を密に行い、交流行事の回数確保を図るほか、行事の告知方法の工夫、他の事業との相乗効果等により参加者を増加させるための対応が必要である。							
一方で、スポーツによるまちづくりについては、成果を計る方法を検討する必要がある。							
			今後の方向性				
成果の 方向性	拡充		④	② ✓	①		
	現状維持		③	⑤			
	縮小		⑥				
	休廃止	⑦					
		皆減	縮小	現状維持	拡大		
		コスト投入の方向性					

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

シティセールス課

地域政策係

No 290

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	3	スポーツによるまちづくりの推進
	実施計画名		事務事業名			
	13	スポーツによるまちづくり推進事業	3	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致事業		

事業概要	2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、キャンプ地誘致活動を推進する。これにより、市民のスポーツへの関心・意欲の高まり、スポーツによる交流の促進や交流人口の拡大、地域PRなどに寄与し、スポーツによるまちづくりを推進する。				対象	市民ほか
					手段	キャンプ地誘致に向けた取り組みを県や各市町と連携して行う
					意図	スポーツへの関心・意欲の高まり、スポーツによるまちづくりの推進

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	やまぐち世界大会等キャンプ地誘致活動負担金	0	280,000	280,000	0
合 計		0	280,000	280,000	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金	280,000		0	
		一般財源		0	280,000		
合 計				0	280,000	280,000	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	ガイドブック・PR用DVD作成、県HP作成	活動	-	PR媒体作成	PR媒体作成	-
			-	PR媒体作成	PR媒体作成	
			-	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策		今後の方向性				
A		日本パラサイクリング連盟所属のナショナルチームの支援に注力するため、これ以上(他の国や競技団体)のキャンプ地誘致は行わない方針である。 よって、当該事業は平成29年度末を以って終了する。	成果の方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
							皆減	縮小
			コスト投入の方向性					

特記事項	「平成29年度終了」
------	------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

シティセールス課

地域政策係

No 291

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	3	スポーツによるまちづくりの推進
	実施計画名		事務事業名			
13	スポーツによるまちづくり推進事業		パラサイクリング連盟とのパートナーシップ事業			

事業概要	山陽オートレース場にて(一社)日本パラサイクリング連盟の合宿を受け入れて、合宿時に選手の講演や地域交流を行い、障がい者スポーツへの理解と振興を図るとともに、オートレース場の利活用と認知度向上に資する。			対象	市民ほか
				手段	日本パラサイクリング連盟の合宿と併せて講演又は交流イベントを実施
				意図	スポーツによるまちづくりの推進

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	スポーツ教室事業委託料	0	500,000	700,000	0
	キャンプ誘致推進事業補助金	0	0	0	1,500,000
合 計		0	500,000	700,000	1,500,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金		700,000	1,500,000	
		一般財源		0	500,000		
合 計				0	500,000	700,000	1,500,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.65	3,792,461		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	合宿回数	活動	-	2回	3回	3回
			-	2回	4回	
			-	100.0%	133.3%	
2	交流行事の実施回数	活動	-	4回	6回	6回
			-	7回	8回	
			-	175.0%	133.3%	
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性					
A	ナショナルチームの選手との交流事業を充実させていくほか、パラサイクルをまちづくりにつなげていくため東京オリンピック・パラリンピックキャンプ後の展開についても、大会誘致等も含めて検討していく必要がある。 一方で、スポーツによるまちづくりについては、成果を計る方法を検討する必要がある。		成果の方向性	拡充		④	② ✓	①
				現状維持		③	⑤	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
						皆減	縮小	現状維持
コスト投入の方向性								

特記事項	
------	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	3	スポーツによるまちづくりの推進
	実施計画名		事務事業名			
6	ふれあいスポーツ推進事業		2	ふれあいスポーツ推進事業(少年サッカーフェスティバル)		

事業概要	平成23年度開催の山口国体の翌年度から始まった県補助事業「我がまちスポーツ推進事業」の後継事業「地域スポーツ人口拡大事業」を活用して本市と下関市で小学生を対象としたサッカーフェスティバルを開催し、広域的な交流を図る。	対象	市内チーム及び県内外チーム(小学生)			
		手段	本市と下関市の共同開催で3日間の試合を行う。			
		意図	参加チームの交流によりスポーツによるまちづくりの推進を図る。			

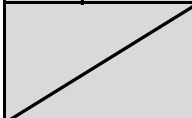
歳出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	需用費	359,491	306,808	310,636	
	テント等設営委託料	298,684	176,040	0	
	使用料及び賃借料	105,220	53,720	53,690	
	報償費	62,000	0	0	
	その他	2,370	13,776	0	
合計		827,765	550,344	364,326	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金		363,000	230,000	142,000	
		地方債					
		その他	参加料	100,000	90,000	80,000	
		一般財源		364,765	230,344	142,326	
合 計				827,765	550,344	364,326	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.25	1,052,676		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	参加チーム	活動	48チーム	48チーム	48チーム	
			40チーム	36チーム	32チーム	
			83.3%	75.0%	66.7%	
2	参加人数	活動	1230人	1230人	1230人	
			721人	746人	718人	
			58.6%	60.7%	58.4%	
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策					
C		今後の方向性					
		成果の 方向性	拡充		④	②	①
			現状維持		③	⑤	
			縮小		⑥		
			休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大		
		コスト投入の方向性					

特記事項	「平成29年度終了」				
------	------------	--	--	--	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

スポーツ振興課

No 293

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	3	スポーツによるまちづくりの推進
	実施計画名		事務事業名			
	7	県立おのだサッカー交流公園運営業務	2	県立おのだサッカー交流公園運営業務(追加分)		

事業概要	平成28年度までは県立おのだサッカー交流公園の天然芝サッカー場は休日及びレノファ山口が平日1～2日の利用頻度であるが、平成29年度からは施設内にスポーツ交流施設が完成したことによりレノファ山口の練習拠点となるためほぼ毎日の利用があるため、利用に伴いメンテナンスを行う。	対象	レノファ山口及びサッカー場利用者
		手段	天然芝のメンテナンス
		意図	レノファ山口の練習場を整備することによりスポーツによるまちづくりを図る

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	県立おのだサッカー交流公園負担金	20,434,000	18,434,000	24,434,000	24,434,000
合 計		20,434,000	18,434,000	24,434,000	24,434,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	20,434,000	18,434,000	24,434,000	24,434,000	
合 計				20,434,000	18,434,000	24,434,000	24,434,000

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.9	2,225,985		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	年間交流公園利用件数	活動	1300件	1500件	1500件	1500件
			1501件	1656件	1828件	
			115.5%	110.4%	121.2%	
2	年間交流公園利用者数	活動	130000人	130000人	100000人	100000人
			147862人	95469人	100159人	
			113.7%	73.4%	100.1%	
3	サッカー場利用日数	活動			270日	300日
					235日	
					87.0%	

H29 目標 達成 度	B		課題及び改善策		今後の方向性					
・大規模大会開催時には駐車場台数が不足。 ・天然芝のメンテナンス(土日は一般利用、平日はレノファ山口の使用がありほぼ毎日利用がある中での天然芝の維持)			成果の方向性	拡充		④	②	①	✓	
				現状維持		③	⑤			
				縮小		⑥				
				休廃止	⑦					
					皆減	縮小	現状維持	拡大		
コスト投入の方向性										

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

スポーツ振興課

No 294

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	3	スポーツによるまちづくりの推進
	実施計画名		事務事業名			
9	スポーツによるまちづくり推進事業		6	総合型地域スポーツクラブ設置推進事業		

事業概要	総合型地域スポーツクラブを市内の未設置校区に拡充させるため、既存の2クラブの役員にクラブ設立に向けた委員となっただき、重点地区(未設置校区)での説明会やアドバイスをおこなっていただく。	対象	出合いちようクラブ、すげえちや高泊の役員及びスポーツ推進委員
		手段	重点地区に赴き説明会やアドバイスを行う
		意図	新クラブ設立時には行政の支援も必要であるが、経験者の説明やアドバイスが必要不可欠となる

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	報償費		42,000	2,000	120,000
合 計		0	42,000	2,000	120,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		42,000	2,000	120,000	
合 計			0	42,000	2,000	120,000	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	説明会実施回数	活動		10回	10回	10回
				5回	3回	
				50.0%	30.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
D		総合型地域スポーツクラブの周知・広報を行い、クラブを多くの市民に知ってもらい、設立の機運醸成を図っていく必要がある。	成果の方向性	拡充		④	②	①
		現状維持			③	⑤	✓	
		縮小			⑥			
		休廃止		⑦				
				皆減	縮小	現状維持	拡大	
				コスト投入の方向性				

特記事項	
------	--